

2020年7月29日

エリアリンク株式会社
証券コード 8914 東証第二部



2020年12月期 第2四半期 決算サマリー

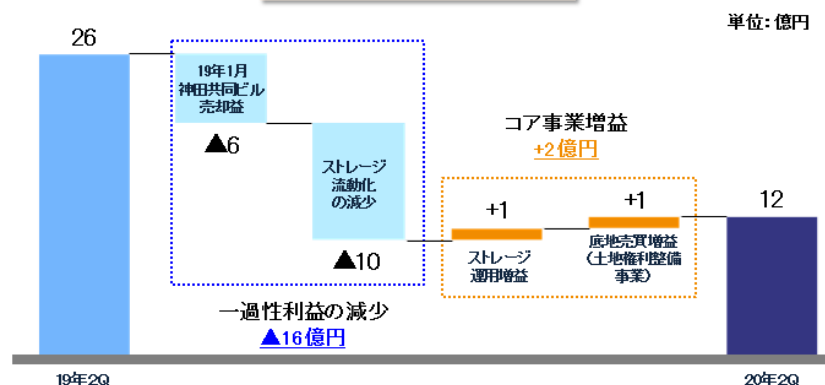
■2020年12月期 第2四半期業績(6ヵ月)

前年同期比では大幅減収減益も予算上振着地、上振は売上4億円、営業利益で3億円

(単位：百万円)	2019年2Q 1-6月	売上比(%)	2020年2Q 1-6月	売上比(%)	前年比
売上高	20,145	(-)	11,791	(-)	△ 41.5%
売上原価	15,413	(76.5)	8,802	(74.7)	△ 42.9%
売上総利益	4,731	(23.5)	2,988	(25.3)	△ 36.8%
販売費及び一般管理費	2,097	(10.4)	1,733	(14.7)	△ 17.4%
営業利益	2,634	(13.1)	1,255	(10.7)	△ 52.3%
経常利益	2,472	(12.3)	1,217	(10.3)	△ 50.8%
四半期純利益	1,686	(8.4)	830	(7.0)	△ 50.8%

売上高117億91百万円（前年同期比41.5%減）、営業利益12億55百万円（同52.3%減）、経常利益12億17百万円（同50.8%減）、四半期純利益8億30百万円（同50.8%減）と減収減益の結果。これは2019年上期の業績には、一過性の利益（ストレージ流動化、神田共同ビル売却）が含まれていたことが主な要因。ストレージ運用、底地事業といったコア事業では増収増益を達成。また、ストレージ事業、底地事業ともに予算を達成しており、全社業績は2月14日に発表した上期業績予想を売上高4億円、営業利益で3億円それぞれ上振れる結果。

営業利益増減の内訳



■2020年12月期 第2四半期 セグメント別概況

ストレージ事業：予算達成、流動化減により減収減益

・ストレージ運用 予算達成・増収増益

ストレージ運用は売上高 68 億 69 百万円（前年同期比 9.2 増収）、事業利益は 9 億 33 百万円（同 13.6%増益）と増収増益の結果。出店総室数 98,691 室まで増加（19 年 12 月末+2,222 室 19 年 6 月末+4,806 室）。ストレージ稼働率は 77.76%、3.13%pt 増（2019 年 6 月末比）。市況悪化を想定し厳選出店した結果、新規稼働率が向上。保守的な予算設定と物件買戻しにより収益性が改善。

・ストレージ流動化 大幅減収減益、投資家販売から自社保有へ移行

売上高は 5 億 69 百万円と前年同期比で大幅減収の結果。減収減益の主な要因は、土土地付きストレージの出店が大きく減少していることと、コンテナストレージについては従来の投資家販売から自社保有へ移行したためで会社計画通り。

土地権利整備事業：19 年上期は資産売却の影響で減収減益、実態ベースで増収増益

売上高は 34 億 82 百万円と前年同期比で減収ながら、19 年上期には神田共同ビル売却を含むため（売上 14 億円、営業利益 6 億円）、底地事業は実態としては増収増益。景気や市況を鑑みて一旦仕入れをストップし販売に専念し現金化を急ぐ。在庫管理体制を強化し、近い将来の仕入れ再開を視野に

			2019 年(1-6 月)		2020 年(1-6 月)		前年比
			実績	利益率	実績	利益率	増減率
ストレージ事業	運用	売上高	6,288	(-)	6,869	(-)	9.2%
		売上総利益	1,240	(19.7)	1,494	(21.8)	20.5%
		営業利益	822	(13.1)	933	(13.6)	13.6%
	流動化	売上高	8,302	(-)	569	(-)	△ 93.1%
		売上総利益	1,444	(17.4)	75	(13.3)	△ 94.8%
		営業利益	909	(11.0)	△ 68	(-)	-
ストレージ事業	売上高	14,951	(-)	7,439	(-)	△ 49.0%	
	売上総利益	2,685	(18.4)	1,570	(21.1)	△ 41.5%	
	営業利益	1,731	(11.9)	865	(11.6)	△ 50.0%	
土地権利整備事業	売上高	4,620	(-)	3,482	(-)	△ 24.6%	
	売上総利益	1,681	(36.4)	1,098	(31.5)	△ 34.7%	
	営業利益	1,245	(27.0)	778	(22.4)	△ 37.5%	
その他運用サービス事業	売上高	933	(-)	869	(-)	△ 6.8%	
	売上総利益	365	(39.1)	320	(34.9)	△ 12.2%	
	営業利益	289	(31.0)	247	(28.5)	△ 14.3%	

管理部門経費	売上高	—	(—)	—	(—)	—
	売上総利益	—	(—)	—	(—)	—
	営業利益	△ 632	(—)	△ 635	(—)	△ 0.5%
全事業合計	売上高	20,145	(—)	11,791	(—)	△ 41.5%
	売上総利益	4,731	(23.5)	2,988	(25.3)	△ 36.8%
	営業利益	2,634	(13.1)	1,255	(10.7)	△ 52.3%

■業績予想

7月27日に上期業績予想の修正を発表、通期業績予想の変更はなし

	2019年12月度		2020年12月度		前年同期比	
	実績	(%)	予想	(%)	増減	増減率
(単位：百万円)						
売上高	29,333	(—)	24,700	(—)	△ 4,633	△ 15.8%
ストレージ事業	22,087	—	14,571	—	△ 7,616	△ 34.0%
土地権利整備事業	5,402	—	8,436	—	3,033	56.2%
その他運用サービス事業	1,842	—	1,691	—	△ 151	△ 8.2%
営業利益	3,030	(10.3)	2,300	(9.3)	△ 730	△ 24.1%
ストレージ事業	2,308	—	1,850	—	△ 458	△ 19.9%
土地権利整備事業	1,344	—	1,270	—	△ 74	△ 5.5%
その他運用サービス事業	546	—	420	—	△ 126	△ 23.2%
管理部門経費	△ 1,169	—	△ 1,240	—	△ 70	6.1%
経常利益	3,000	(10.2)	2,200	(8.9)	△ 800	△ 26.7%
当期純利益	△ 1,753	(—)	1,300	(5.3)	3,053	—
1株当たり当期純利益(円)	△ 138.81	—	102.93	—	—	—

■配当予想

変更なし

	2019年12月度	2020年12月度(予想)
1株当たり配当金	40円	31円
配当性向	—	30.1%

その他のIR情報はこちら <https://www.arealink.co.jp/ir/> よりご覧いただけます。